

⑩ 日本国特許庁(J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-78773

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)6月18日

F 04 B 1/20  
21/00

N 7911-3H  
7911-3H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ブランジャポンプ

⑯ 実 願 昭63-159197

⑰ 出 願 昭63(1988)12月6日

⑱ 考 案 者 小 川 健 二 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-15 吉祥寺コーポ706  
⑲ 出 願 人 小 川 健 二 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-15 吉祥寺コーポ706  
⑳ 代 理 人 弁理士 木下 実三 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ボディと、

このボディに取付けられるとともに、吸入ポート及び吐出ポートを形成され、かつ、これらの吸入ポートおよび吐出ポートにそれぞれ連通する連通孔が開口された摺接面を有するバルブブロックと、

このバルブブロックの摺接面に一端の摺接面を当接された状態で前記ボディに回転自在に支持されるとともに、前記バルブブロックの連通孔の開口に連通可能にされた状態で軸方向に穿設された複数のブランジャ挿入孔を有するポンプブロックと、

このポンプブロックをバルブブロック側に付勢する付勢手段と、

前記ポンプブロックを回転駆動する回転駆動手段と、

前記ポンプブロックの各ブランジャ挿入孔に軸方向摺動自在に挿入されるとともに、ポンプブロックとともに回転される複数のブランジャと、

これらのブランジャを軸方向にそれぞれ駆動するとともに、ポンプブロックの各ブランジャ挿入孔が前記連通孔を介して吸入ポートに連通された状態で当該ブランジャを吸入方向に駆動し、かつ、各ブランジャ挿入孔が前記連通孔を介して吐出ポートに連通された状態で当該ブランジャを吐

出方向に駆動するブランジャ進退駆動手段と、

前記各ブランジャとポンプブロックの各ブランジャ挿入孔とのシールを行うブランジャシール機構と、

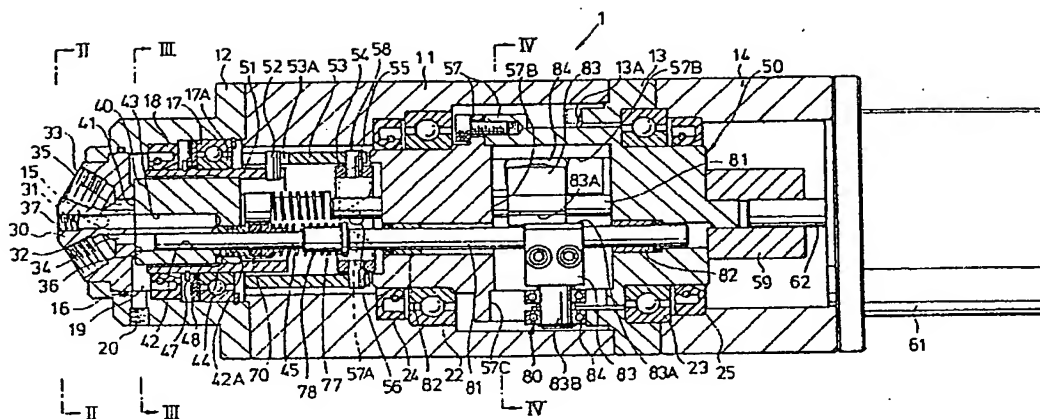
を備え、前記バルブブロックとポンプブロックとのいずれか一方が硬質材から形成されるとともに、いずれか他方が弾性を有する樹脂から形成されたことを特徴とするブランジャポンプ。

図面の簡単な説明

図は本考案の一実施例を示すもので、第1図は全体構成を示す断面図、第2図～第4図は第1図のそれぞれⅡ-Ⅱ、Ⅲ-Ⅲ、Ⅳ-Ⅳ線に沿った断面図、第5図は第1図のブランジャシール機構の拡大図である。

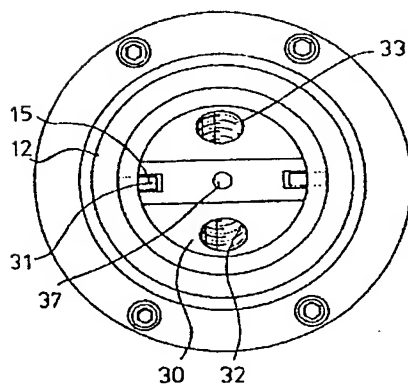
1……ブランジャポンプ、10……ボディ、13……カム、13A……カム面、30……バルブブロック、32……吸入ポート、33……吐出ポート、34……連通孔、35……連通孔、36……摺接面、40……ポンプブロック、41……摺接面、42……ブランジャ挿入孔、35……ブランジャ、48……付勢手段としての皿ばね、50……回転駆動手段、57……回転体、61……モータ、70……ブランジャシール機構、78……押圧ばね、80……ブランジャ進退駆動手段、81……ロッド、84……カムフオリフ。

第 1 図

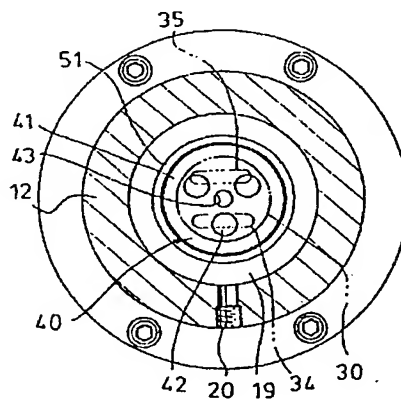


- |              |                  |                |
|--------------|------------------|----------------|
| 1... フランジポンプ | 40... ホンフアフロ     | 70... フランジシール枕 |
| 10... ホンフ    | 41... 接合面        | 78... 接合面      |
| 13... カム     | 42... フランジ挿入孔    | 80... フランジ通孔   |
| 30... バルブフロ  | 45... フランジ       | 81... ロッド      |
| 32... 吸入ポート  | 48... 付着部2としての凹部 | 84... カムフロ     |
| 33... 吐出ポート  | 50... 凹部3        |                |
| 34, 35... 通孔 | 57... 凹部1        |                |
| 36... 接合面    | 61... モーダ        |                |

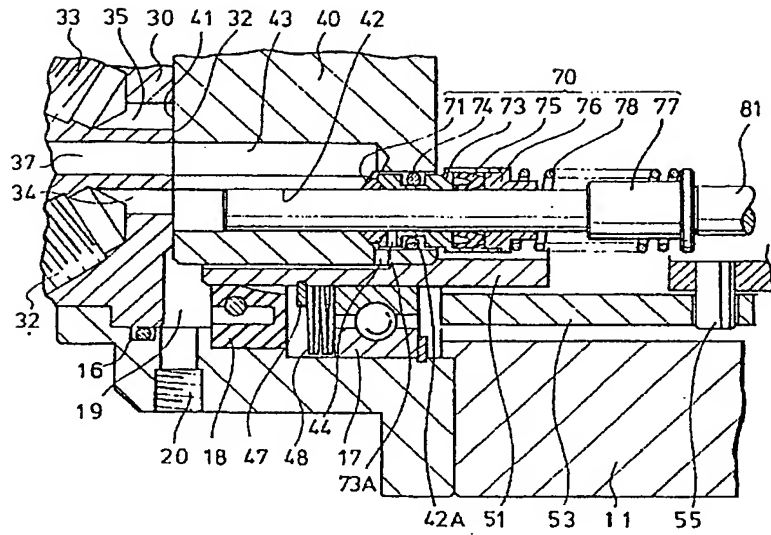
第 2 図



第 3 図



第 5 図



第 4 図

